

FIDIC と AJCE のあゆみ

公益社団法人 日本コンサルティング・エンジニア協会

1913(大正2) FIDIC 設立



FIDIC : International Federation of Consulting Engineers 国際コンサルティング・エンジニア連盟設立
あらゆる技術分野を包含し、かつ独立・中立の立場を保持する各国コンサルティング・エンジニア協会を会員とする世界的に権威のある連盟

1974(昭和49) AJCE 設立



1974年4月26日 任意団体『日本コンサルティング・エンジニア協会』として設立
設立当時 個人会員：185名 企業会員：16法人
「施工業、製造業及び販売業との関係で中立の立場を保持するコンサルティング・エンジニアの職業倫理を確立するとともに、これらのコンサルティング・エンジニアの業務の発展をはかり、もってわが国科学技術及び産業の発展、社会の福祉、国民の健康及び安全の増進並びに海外との経済・技術・研究協力の促進に寄与することを目的とする。」(設立時の定款より)

1974(昭和49) FIDIC 加盟

1974年10月 FIDIC ケープタウン大会のFIDIC 総会にて、AJCE の加盟が承認される

1975(昭和50) FIDIC 加盟記念大会

年月日：1975(昭和50)年10月14日

会場：ホテルオークラ別館

FIDIC オルソン会長 フライリング前事務総長 出席

オルソン会長は日本メディアの取材に対し次の通りコメントした。
「コンサルティング・エンジニアは政府・施行業者等から独立し、責任と品位を保持しなければならない。日本のコンサルティング・エンジニアは非常に高い能力と極めて強い基盤を持っていると承知している。日本のFIDIC加盟によりアジア地域には大きな力が加わった。」



左田中宏 AJCE 会長
右：オルソン FIDIC 会長

1977(昭和52) AJCE 社団法人 承認

科学技術庁(現文部科学省)に社団法人として承認される

1982(昭和57) AJCE 5周年記念事業『中立のコンサルティング・エンジニアの役割』刊行

邦訳『中立のコンサルティング・エンジニアの役割並びにコンサルティング・エンジニアの使用の基準』刊行

コンサルティングエンジニア(CE)業務の基本的な重要事項であるCEの役割CEの業務などについて、FIDICが各国の英知を結集してまとめたもの。CEが各種のプロジェクトにおいて適切な役割を果たす上での基本的な事項が述べられている。



1984 (昭和 59) FIDIC-AJCE 合同セミナー 『海外建設プロジェクトの入札手続』

日時：1984 (昭和 59) 年 10 月 2 日 13:00~17:00

会場：学士会館本館 講師：P.O.Miller FIDIC 会長

セミナー開催に併せて AJCE では邦訳版『建設工事の入札手続ガイドライン』を刊行



1988 (昭和 63) FIDIC-AJCE 合同セミナー 『FIDIC Red Book Yellow Book の解説』

日時：1988 (昭和 63) 年 4 月 25 日 9:00~17:00

26 日 9:00~17:00

会場：京王プラザホテル

講師：Albert H. Campbell 氏 Dan W. graham 氏
Michel Mortiner-Hawkins 氏 K. B. Norris 氏

1987 年に刊行された『FIDIC 土木建設工事契約条件書 (Red Book 4th ed.)』『FIDIC 電気および機械設備の契約条件書 (Yellow Book 3rd ed.)』の解説セミナー

セミナー開催に併せて AJCE では邦訳版を刊行



1989 (平成 1) 第 112 回 FIDIC 理事会 東京開催

期間：1989 (平成 1) 年 6 月 9 日~10 日

会場：京王プラザホテル

出席者：Steven Gentry FIDIC 会長 森村武雄 FIDIC 理事・AJCE 副会長 他

FIDIC 理事会は年 3 回開催され、そのうち 1 回は FIDIC 年次大会にあわせて開催され、残り 2 回は理事出身国にて、それぞれ持ち回りで開催するのが慣例となっている。FIDIC 史上初めて東南アジアでの理事会開催となる

1989 (平成 1) FIDIC セミナー コンサルタントの社会的使命と役割

日時：1989 (平成 1) 年 6 月 8 日

会場：京王プラザホテル

講師及び講演内容：

『コンサルタントの選定と評価』S.E. フリックマイヤー FIDIC 会長

『政府機関とコンサルタントの関係』S.C. ジェントリー FIDIC 副会長

『FIDIC の沿革と現在の行動目標』G.H. コーツ FIDIC 理事

FIDIC 理事会東京開催に併せて開催

1991(平成3) FIDIC 東京大会 『Harmonization between Man and Environment』

期間：1991（平成3）年9月15日（日）～19日（木）

会場：京王プラザホテル

FIDIC 加盟 50 カ国（当時）のうち約 40 カ国から合計 650 名（うち日本人 220 名）が参加



Gentry FIDIC 会長（左から 2 番目）
と AJCE 役員



FIDIC 総会の様子



プログラム

1991（平成3） FIDIC-AJCE 合同セミナー 『FIDIC White Book の解説』

日時：1991（平成3）年9月19日 9：30～16：30

会場：サンケイ会館

講師：Godfrey Lloyd Ackers 氏 Mark Griffiths 氏 Paul Julian Taylor 氏

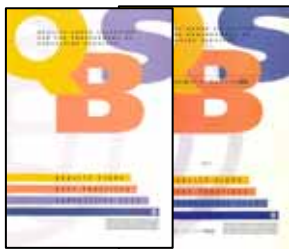
1991年に刊行された『FIDIC 発注者/コンサルタント間の標準役務契約
条件書（FIDIC White Book）』の解説セミナー セミナー開催に併せて

AJCE では邦訳版を刊行

FIDIC 東京大会に併せて開催



1997（平成9） FIDIC-AJCE 合同セミナー 『能力に基づくコンサルタントの選定』



日時：1997（平成9）年7月29日 13：30～16：15

会場：アルカディア市ヶ谷

講師：William D.Lewis FIDIC 会長

FIDIC 『Quality based selection for the procurement and consulting
services』の刊行を受け FIDIC-AJCE 合同セミナーを開催

AJCE では邦訳版 『能力に基づくコンサルタントの選定』を刊行

1999（平成11） FIDIC-AJCE 合同セミナー 『New-Red Book の解説』 『ISO14001』

日時：1999（平成11）年11月2日 9：30～17：00

会場：サンケイ会館ホール

講師：Dr. Marshall Gysi FIDIC 専務理事

P. L. Booen 改訂版執筆主査 他

1999年に刊行された『FIDIC 建設工事の契約条件
書（New-Red Book）』の解説セミナー セミナー

開催に併せて AJCE では邦訳版を刊行



2002 (平成 14) 『アジア開発銀行のコンサルタント調達における QCBS 導入問題に関する要望書』



アジア開発銀行 (ADB) のコンサルタント調達において、品質・技術と価格による選定 (QCBS) が導入されたことを受け、(社)日本コンサルティング・エンジニア協会、(社)海外コンサルティング企業協会、(社)国際建設技術協会の 3 協会 (いずれも当時) は QCBS 導入に関する懸念を表明し、ADB へ入札結果のモニタリング実施などの要望書を提出。
 同時に財務省国際局へも QBS の適宜適用と、QCBS の入札結果のモニタリングを指導いただく様、要望書を提出。
 FIDIC 会長は ADB を訪問し、QBS 維持を訴えた。

2003 (平成 15) 第 3 回世界水フォーラム FIDIC 会長来日 技術重視を提言

日時：2003 (平成 15) 年 3 月 17 日
 会場：京都国際会館
 AJCE-FIDIC 共催セッション『持続的で安全な水供給及び洪水制御システム』
 基調講演：Pedersen FIDIC 会長
 モデレーター：Kawaguchi 前 FIDIC 理事

共催セッションでは最終日の閣僚会議の資料としての提言を行い、この提言に盛り込まれたキーワード「能力開発」、「技術移転」が閣僚宣言に反映された

Pedersen FIDIC 会長は国土交通省幹部と会談し、「コンサルタントの選定は技術中心にするべきであり、その後、価格面の協議をすべき」との考えを明らかにした



2004 (平成 16) 第 157 回 FIDIC 理事会 東京開催

期間：2004 (平成 16) 年 5 月 18 日 ~ 19 日
 会場：Pacific-House
 出席者：Richard Kell FIDIC 会長 石井弓夫 FIDIC 理事・AJCE 会長 他

2004 (平成 16) AJCE 30 周年記念シンポジウム
 『新たな価値への挑戦 - 真のパートナーとしてのコンサルティングエンジニア』



日時：2004 (平成 16) 年 5 月 20 日 13:00 ~ 17:30
 会場：ルポール麹町 エメラルド
 講師及び講演内容
 Richard Kell FIDIC 会長：世界のコンサルティング・エンジニアが当面する問題に対応した戦力について
 Gregs Thomopoulos FIDIC 理事：米国ブルックス法の歴史的背景やコンサルティング・エンジニアが専門職業として確立した過程
 シンポジウムに併せて FIDIC 理事会が東京で開催された

2005 (平成 17) パンフレット『先進諸外国におけるコンサルタントの選定方法』を作成

AJCE と(社)建設コンサルタンツ協会、(社)海外コンサルティング企業協会、(社)国際建設技術協会の 4 協会は、アメリカ・イギリス・フランス・ドイツの先進 4 カ国におけるコンサルティング・エンジニア選定方法を調査し、各国で採用されている「技術力を重視する選定方法 (QBS)」を紹介するパンフレットを作成



2012 (平成 24) AJCE 公益社団法人へ移行

公益社団法人へ移行
協会名を『公益社団法人 日本コンサルティング・エンジニア協会』に変更

2012 (平成 24) 第 181 回 FIDIC 理事会 東京開催

期間：2012 (平成 24) 年 5 月 9 日 ~ 10 日
会場：泉ガーデンコンファレンスセンター
出席者：Geoff French FIDIC 会長
廣谷彰彦 FIDIC 理事 他



2012 (平成 24) FIDIC-AJCE 共催セミナー コンサルタントの国際展開 - 国際コンサルティング・エンジニア連盟 (FIDIC) 会長と共に考える -

日時：2012 (平成 24) 年 5 月 8 日 13:30 ~ 17:00
会場：ル・ポール麹町 ロイヤルクリスタル
講師及び講演内容：

- 『FIDIC 創立 100 周年を迎えて FIDIC ビジョンとミッション』
Geoff French FIDIC 会長
- 『コンサルティング・エンジニア産業発展に向けた FIDIC の取り組み』
Enrico Vink FIDIC 専務理事
- 『官民連携による海外インフラプロジェクトの推進』
橋場 克司 国土交通省大臣官房技術参事官
- 『ODA 事業と FIDIC / コンサルタントへの期待』三浦 和紀 JICA 資金協力支援部長
- 『わが国コンサルタント発展の歴史と国際展開』廣谷 彰彦 FIDIC 理事
FIDIC 理事会東京開催に併せて開催



2012 (平成 24) FIDIC 契約約款研修コース FIDIC Module 1,2

期間：2012 (平成 24) 年 12 月 3 日 ~ 6 日
会場：日本工営株式会社 本社 3 階 A 会議室
講師：Geoffrey Smith 氏 (FIDIC 認定講師)
内容：FIDIC Module 1 Practical Use of the FIDIC Contract
FIDIC Module 2 Management of Claims
and the Resolution of Dispute



FIDIC 理事の輩出 (定数:9名 任期:4年)

1986年9月～1990年9月 森村 武雄
2001年9月～2005年9月 石井 弓夫
2009年9月～ 廣谷 彰彦



森村武雄氏
1991年 FIDIC 東京大会にて



石井弓夫氏
2001年 FIDIC ハワイ大会にて



廣谷明彦氏
2009年 FIDIC ロンドン大会にて

アジア太平洋地域会員協会連合(ASPAC)理事・議長の輩出

1988年9月～1990年9月 森村 武雄 ASPAC 議長
- 2000年 ASPAC 運営規約改定により ASPAC 理事会設置 -
2000年9月～2003年9月 石井 弓夫 ASPAC 議長
2003年9月～2009年9月 廣谷 彰彦 ASPAC 理事
2006年9月～2009年9月 廣谷 彰彦 ASPAC 議長
2009年9月～ 内村 好 ASPAC 理事